

JPEC World Report

欧州 2026 年 6 月版

ハイライト

➤ 政策動向

- イタリア、オーストリアの再エネ関連投資支援など、脱炭素投資への支援が継続。
- 英国では、2038～2042 年を対象とする第 7 次炭素予算案として、1990 年比約 87%削減の目標を公表。目標達成に向けて脱炭素を進めることはエネルギー安全保障にも繋がる点を強調。
- 英国では、第三国経由ロシア産石油製品の輸入を 2027 年から禁止する方針を発表。

➤ 企業動向

- Repsol で、バイオ燃料の新たな商業プラント（20 万トン/年規模）が稼働開始。
- 水素・合成燃料分野では、ORLEN の水素ステーション新設や、INERATEC 供給の e-SAF を使った旅客機の実証飛行などの動きが見られた。
- 第 2 世代 SAF 開発において、Lighthouse Green Fuels が英国プロジェクトの FEED 完了を発表した。また、フランスでは、Technip Energies、Airbus 等の企業連合で ATJ（Alcohol to JET）プロセスの開発に取り組む。

➤ 石油需給

- ジェット燃料とディーゼルのクラックの上昇を背景にしたイタリア等での増産に加えて、ドイツ等の定修完了により、2026 年 4 月の欧州製油所の原油処理量は 4 ヶ月ぶりの高水準となった。
- 欧州のジェット燃料市場の供給不安は、足元では緩和されている様子。米国等からの輸入増加に加えて、欧州製油所のジェット燃料増産で十分な供給が確保されている。



この記事は、賛助会員・情報提供サービス購読者限定です。
お申し込み後、続きをご覧くださいのための閲覧用パスワードをお送りします。

賛助会員・情報提供サービス購読者の方は、
下のボタンから続きをご覧ください。

続きを読む

◆情報提供サービスのお申込みはこちら >

◆賛助会員については、こちらからお問い合わせください >